

センターの一年を振り返って

センター専任教員

吉原 美知子

センターでは平成 24 年 4 月より、「YNU 機器利用支援システム」の本格運用を開始しました。このシステムは「共同利用機器利用検索システム」としてスタートしたもので、学内共同利用機器の検索と利用予約を行えますが、本格運用に合わせて名称を変更しました。旧システムでは誰でも利用予約できるという問題があったため、現システムは講習などを受けて担当者から自己測定を許可されたユーザーだけが予約できるようになっています。

このシステムにはセンターの管理機器に加え、学内共同利用可能機器の情報も掲載しており、どこにどのような分析機器があるか検索可能です。現在のところ、学内共同利用機器の登録数は限られていますが、学内すべての機器が検索可能になれば、設備の有効利用、設備更新および適切な配置への重要な資料になると期待できます。文部科学省は大学の設備有効利用をはかる「設備サポートセンター」整備事業を行っており、当センターもこの事業に応募しました。今年度は残念ながら採択に至りませんでした。全学機器の積極的なサポートが行えるよう、来年度も応募したいと考えています。

ところでこのシステムは、機器の検索・予約だけでなく、利用状況を記録できるようになっています。本格運用からまだ日が浅いため記録忘れも見られますが、すべてのユーザーが快適に利用できるよう、適切な運用をお願いいたします。システムがさらに使いやすくなるよう、随時更新を行っていきますので、ご要望等がありましたらお知らせください。

一部のセンター機器は「大学連携研究設備ネットワーク」に登録しており、こちらの予約システムを利用しています。このネットワークは、全国の大学が所有する設備を相互利用可能とするもので、化学系研究設備から始まり、物理系などにも範囲を広げています。これを通じて学外の方が本学へ、また本学から学外への利用も行われています。利用希望の機器が、どちらのシステムで予約可能かは「YNU 機器利用支援システム」の機器情報をご覧ください。

今年度は、センターのホームページデザインを一新しました。大学のホームページに近いイメージで作成しており、見やすくなったと思います。最初に学外向け公開ページが開きますので、学内専用の情報を見たい場合は「学内の方」というタブをクリックして下さい。RI 教育研究施設にアクセスする場合、「RI 教育研究施設」という表題あるいはタブにカーソルを合わせて下さい。学内専用ページでは、「検索・利用システム」から「YNU 機器利用支援システム」と「大学連携研究設備ネットワーク」に進むことができます。

センターでは今年度も高校生向けのテクノワールドや公開講座などの行事を実施しました。公開講座は昨年まで実習を主体として機器毎に参加者を募集していましたが、複数の機器をセットにし、有機化合物の分析を主とした「実践機器分析基礎講座 (1)」と、電子顕微鏡などを用いる固体の観察を主とした「実践機器分析基礎講座 (2)」に日程を分けて開催しました。このように分割したことで、興味の対象によってより丁寧な内容で実施できたと思います。

センターは利用者の皆様がさらに使いやすい環境となるよう努めていきたいと思っておりますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。